



# 9月の園だより

令和6年9月2日

目黒区立八雲保育園 園長

～楽しいは続くよ どこまでも～

まだ残暑の厳しさを感じますが、夏ならではの遊びをたくさん経験した子どもたちは、心も体も一回り大きくなって夏を終えようとしています。ある日、2歳児クラスから「しろくま組水族館楽しみだね」「どんなお魚がいるかな」と楽しそうな声が聞こえてきたので一緒に屋上へ行くと、5歳児クラスが気持ちよさそうに泳いでいる姿を見せていました。入り口やプールの上には手づくりの看板や垂れ幕が出迎えわくわく感を高めてくれます。「ぐるぐるエイです」「カクレクマノミがサンゴの間から出てきました」「最後はシャチのハイジャンプです」と自分たちで“見せ方”を考えながら小さな友達にアピールしています。見ている子どもたちは大きな水しぶきで全身がびしょぬれになっても「洋服ぬれちゃったね、着替えればいいね」と目をキラキラさせてプールの傍から離れずにいました。そんな小さな友達に『もっと楽しんでもらいたい』と近くまで泳いで“タッチ”（触れ合い）のサービスもしてくれたり、いつも以上にはりきって泳ぐ子どもたちでした。「あ～楽しかったね」「チンアナゴ顔出しておもしろかったね」「ペンギん組さんになったら、あの大きなプールに入るんだよね」部屋へ戻っても子どもたちの会話は途切れることはなく、すでに来年の夏への“楽しみ”が大きく膨らんでいることを感じました。これからも異年齢児の関わりを通して、少し先のことにも大きな期待がもてる遊びの“きっかけ”をつくっていきたいと思います。

ここ数か月間、自然災害に関する緊張感が高まる事象が続いています。今月は園内でも通常の訓練に加えて「引き渡し訓練」を予定していますので、お迎えの際はご協力のほどよろしく願いいたします。

## 9月の行事予定

引き渡し訓練

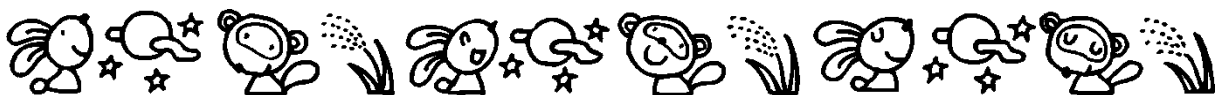
身体計測 避難訓練

## 10月の行事予定

運動会（2歳～5歳）

芋ほり遠足（4歳、5歳）

身体計測 避難訓練



## 防災備蓄について

9月は防災備蓄を見直す月です。非常食は「非常だから食べられれば良い」から「普段食べ慣れたものを常備する」に変わってきています。そんなときにご家庭であると便利なのはくちどけの良いお菓子などです。口に含んでいるだけで意識がそちらに向き、不安を軽減する効果があります。乳児のご家庭はラムネやソフトせんべいなどがおすすめです。

そして、レトルトパックはとても便利です。定期的にご家庭で使用して味に慣れておきましょう。家族構成に合わせ、見直しながら備蓄するようにしましょう。



栄養士より

## めだか組（0歳児クラス）

「くるくるまわれ」

この夏、水遊びや氷、寒天など、感触遊びを楽しみました。大きな氷に“何だろう”と保育士の顔を見たり、離れた場所から様子をうかがったりしていましたが、保育士が触ると次第に触り始めました。そっと手を当て冷たさに「あ〜」と驚きの声をあげたり、大きな口を開けて“びっくり”の表情をしたりしていましたが、「冷たいね」と声を掛けるとニッコリ笑ってもう一度触り、氷をペンペンと叩いて両手で掴もうとした瞬間、氷がクルクルと回りだすと「あひー」「あはは」と笑って手を叩き体を揺らして大喜びしていました。夏ならではの遊びで、「面白いね」「楽しいね」をたくさん経験した子どもたちです。これからも子どもの気持ちに共感し、一緒にたくさん遊んでいきたいと思います。



## 水遊びの様子

～乳児クラス～

見て・触って・音を聞いてなど五感を使って遊ぶ経験を大切にしています。



## あひる組（1歳児クラス）

「これ なんだろう・・・？」

絵の具を使って初めてのフィンガーペインティングをしました。赤や黄色の絵の具を、お皿に出すと“なんだろう？”と不思議そうに見つめている子どもたち。保育士が絵の具を手につけて見せたり、画用紙の上に手形を押したりすると、真似して手に付けて遊び始めています。自分の手の跡が出来ると手を叩いて喜んでいて「もういっぱい」と何度も楽しんでいます。また、絵の具のぬる〜とした感触も気持ち良いようで手や腕に絵の具を付けて全身で感触を味わって楽しんでいました。これからも、子どもたちの“なんだろう？”“やってみたいな”という発見や気持ちに寄り添いながら、色々な経験を保育士と一緒に楽しんでいきたいと思います。



## らっこ組（2歳児クラス）

「変身！魔法の水」

色水遊びに夢中な子どもたちは保育士が「魔法をかけよう」と食紅をタライの水に入れると、みんなで柄杓でかき混ぜて「まほう〜」とわくわくしながら色が変わっていく様子を楽しんでいます。初めはペットボトルやカップに入れてジュース屋さんを楽しんでいたところから、「黄色い水と青い水を混ぜたら緑になったよ！」と教えてくれたり「何この色〜！」と、赤い水を青い柄杓ですくうとなぜか紫色に見えることに気付く、実験のように自分たちで試しながら色の変化や不思議さを楽しんでいます。子どもたちと一緒に発見したり驚いたり、わくわくする気持ちを大切に、これからも好奇心を育みながら遊んでいきます。

